



城南小だより

令和6年12月号 小山市立小山城南小学校長

学校教育目標

- 心の豊かな子ども
- 自ら学ぶ子ども
- 体の丈夫な子ども

ホームページは「小山こどもの森」から

月日の過ぎるのは早いもので師走を迎えました。やはり12月に入ると少しずつ気温が下がってきて、寒い日や風の強い日もあります。「子どもは風の子」と言われていますが、寒い日でも元気に校庭でサッカーをして遊んでいる姿を見かけます。サッカーは、今でこそ人気のあるスポーツですが、昔はそれほどではありませんでした。今から56年前、メキシコシティ・オリンピックで日本代表チームは銅メダルを獲得しました。そのときの監督は、「長沼健（ながぬまけん）」という人でした。長沼さんはその後、日本のプロサッカー「Jリーグ」をつくることや、2002年にアジア初の日韓W杯を行うことにも力を発揮した人です。その長沼さんが「サッカーが上手になるためには、2つのものが必要だ」と言っていて、また長沼さんの話を聞いて「私たちの世界でも同じです」と言った人もいました。プロ野球の読売巨人軍を9年連続日本一にした川上哲治監督です。長沼さんも川上監督も「うまくなる、できるようになるには、同じものが必要」だと言ったのです。それは、「挨拶」と「整理整頓」なのだそうです。この後、長沼さんに「挨拶や整理整頓ができなくても、サッカーが上手になる人はいるんじゃないですか」と聞いた人がいました。これに対して、長沼さんは「いません！絶対にいません！！何千人という選手を育ててきましたが、サッカーが上手になる人は、必ず自分から『挨拶』ができ、『整理整頓』がきちんとできるのです。なぜだか、理由は分かりませんが…」と答えたそうです。もうすぐ、子どもたちが楽しみにしている冬休みです。年末年始の来客時や大掃除などの機会に、挨拶や整理整頓を意識した生活にチャレンジさせてみるのはいかがでしょうか。ご家族の時間を大切に、ゆっくりとお過ごしください。

城南祭・城南のWAフェス

体験的学習/学びづくり・地域とともにある学校/支える力



お礼の言葉

花束贈呈



影絵



おりがみ



11月2日(土)に城南祭を実施しました。開会式は、「児童代表の言葉」や寸劇形式の「スローガン発表」などをテレビ視聴しました。その後、体育館に移動して「劇団ポプラ」による「ピーターとウェンディ」の劇を鑑賞しました。妖精の粉をかけてもらったウェンディが宙に浮かぶ演出には、感嘆の声や拍手が沸き起こりました。この劇は「夢をみることの大切さ」「困難を乗り越えて結ぶ友情」「家族の大切さ」などのメッセージが込められた素晴らしい作品でした。最後に6年代表児童が、「お礼の言葉」と花束を贈呈しました。



パステルアート



ピュンピュンごま



けん玉遊び



ラグビー体験



作品鑑賞の様子

演劇鑑賞の後、作品鑑賞を行いました。担任の先生の先導で、クラス単位で、全学年の作品を鑑賞しました。子どもたちからは、「来年は自分も作ってみたい」「〇〇さん、上手だね」などの声が聞こえてきました。



午後、学校運営協議会主催の「城南のWAフェス」が開催されました。雨天の中、たくさんの方にお越しいただき、大盛況でした。小山城南中文芸部・白鷗大ラグビー部の皆様、保護者・地域のボランティアの皆様、ありがとうございました。



交通安全教室

「命を守る」教育/体づくり



講話の様子



横断歩道の渡り方



自転車の乗り方

10月22日(火)・11月22日(金)に、小山市役所生活安心課の講師をお迎えして、交通安全教室を行いました。下学年は道路の歩行の仕方と横断歩道の渡り方で、中・上学年は自転車の乗り方について学びました。校庭に白線で描いた模擬道路を実際に歩いたり、自転車で走行したりして、交通ルールやマナーを理解することができました。「命を守る大切な学習」にどの子ども真剣に取り組んでいました。休日や冬休み中も安全に生活できるよう、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

心を育てる学校教育の日【道徳の授業参観・懇談会】



「道徳」授業の工夫/心づくり



低学年の授業の様子



高学年の授業の様子

11月20日(水)は、「心を育てる学校教育の日」の一貫として、道徳の授業参観を実施しました。教室内で参観していただけるよう、教室の周りに参観スペースをつくって対応しました。また、保護者の皆様にはアンケートのご協力もいただき、ありがとうございました。一部抜粋したものを紹介させていただきます。

・正しい行いが分かるのと、実際に行動することが結びつかないので、行動できるよう促していければと思います。

・「権利と義務」についての内容でした。日常生活においても、自分の権利ばかりを主張するのではなく、自分のやるべきこと(義務)を果たすことの必要性を改めて話し合いました。

・人の数だけ答えのある「道徳」で、子どもたちが自分なりに考えて、発表していた姿に成長を感じました。

・道徳の時間が、どの教科よりも大切だと感じました。

・道徳という正解を答えるだけではない難しい内容の授業を、短時間で子どもたちに自分事として考えさせ、気付かせ、意見を引き出させるのは大変なご苦労と思います。それを先生は上手にされておられました。感心しました。



地域の皆様、ありがとうございました

ありがとうございます

学習意欲の向上と学ぶ楽しさ/学びづくり



昔遊び



戦争体験



赤い羽根募金活動



募金活動の様子



お金を数えるボランティア委員

11月12・13日の2日間、朝、城南小玄関前でボランティア委員会が中心となって、募金活動を行いました。5月の緑の羽根募金活動は、小山駅東西自由通路で行われましたので、子どもたちにとって、このような募金活動は数年ぶりの活動となりました。給食時間に放送で呼びかけ、募金箱も子どもたちの手作り、教員が立ち会って子どもたちが金額を数えてくれました。主体的な子どもたちの姿がたくさん見られました。



募金額は、13,133円になりました。ありがとうございました。